

## 新潟県支部 65 周年記念式典 祝辞

このたび新潟県支部が設立 65 周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、感染症に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。また、困難な状況の中で事業継続に腐心されている多くの塗装工事業者の皆様におかれましては、一日も早く事態が収束し、これまでの日常に取り戻されることを願っております。

貴支部は、昭和 30 年 2 月 19 日吉田精二支部長のもと会員数 26 社で設立され、その後、歴代支部長を始めとした役員諸氏のご尽力と会員各位の相互協力・団結をもって、今日の支部発展を築いてこられました。長年にわたる皆様の熱情に対し深く敬意を表します。

貴支部ではこの間、各種事業を積極的に推進され、特に安全・衛生への意識啓発、社会奉仕活動、情報発信としてのホームページ開設、県との災害時応援協定の締結など様々な事業に取り組んでこられました。本部関連事業では、住宅リフォーム研修の北陸ブロック会場としてたびたび県内施設で開催していただきました。これにより会員の施工能力と資質の向上に大きくつなげることができました。これもひとえに会員皆様の素晴らしい団結力の賜物と感謝申し上げます。

また、令和 5 年に予定されている全国建築塗装技能競技大会では、開催に向けて会場の視察など早くも準備に取り掛かっていただいていると伺っております。本部では競技の内容を精査し、支部と連携しながら、次世代の塗装技能者の育成と技能の伝承に資する競技大会を着実に実施する所存です。今後とも引き続き本部事業の推進にご協力のほどよろしくお願いいたします。

本会では、技能者の育成を重要な課題ととらえ、昨年度本格稼働を始めた建設キャリアアップシステム（CCUS）において、能力のある技能者が適正に処遇されるよう能力評価基準を策定しました。積み上げた経験、能力によりレベルを 1 から 4 まで上げていく仕組みですが、レベル判定システムと建設キャリアアップシステムの二重システムが利用者の利便性を損ない、高コスト体質となっていることから、システムを一本化する改修が為される予定です。現在のレベル判定システムは 6 月 15 日をもっていったん停止し、以降、新システムが稼働するまでレベルに応じた色カードの発行がなされなくなります。レベルアップの対象となる技能者がおられる企業ではお早めに申請を済ませていただきますようお願いいたします。

さて、国土交通省の施策に目を向けますと、今年 3 月、新たな住生活基本計画が閣議決定されました。それによると第 1 の目標として「新たな日常」や DX（デジタルトラ

ンスフォーメーション)の進展等に対応した新しい住まい方の実現が掲げられています。その中には、住宅に関する情報収集から、契約に至るまでのプロセスをDXにより推進することや、AIによる設計支援や劣化診断の自動化等の生産管理プロセスのIT化、それらによる生産性の向上などが含まれています。

働き手の減少が避けられない中、AIやITを活用した効率化は我々の業界でも避けて通ることはできません。本会では、すでにご報告している通り、塗装技能者の動作解析によるスマホ上での学びのツール「熟練モーション」を発信しているほか、ドローンによる調査診断の広がりを見据え、日本建築ドローン協会や関連企業等を通じてリサーチを行い、会員に向け情報提供の準備を行っております。

本会では、本年度重点施策の展開に「ICT(情報通信技術)を活用した事業活動」推進を謳っており、今まで以上に現場で求められる最新技術や導入に関する情報の周知にむけ積極的に取り組んでまいります。

これまで諸先輩の方々が、しっかりと築き上げてこられた塗装工事業を、希望あふれる業種として次世代に継承していくためにも、会員皆様のご理解、ご協力を切にお願いいたします。

本会はこれまで通り、塗装工事業界の唯一の全国団体として業界の地位向上、発展のために、今年も積極的に事業に取り組み、展開してまいります。会員の皆様をはじめ関係各位のご理解と一層のご支援をお願いいたしますとともに、今年一年のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

この65周年という記念すべき年を契機とされ、貴支部がますます充実発展されますことを願い、併せて会員皆様のご健勝と企業のご繁栄を祈念致して挨拶といたします。

令和3年5月26日

一般社団法人 日本塗装工業会

会 長 北原 正